

平成24年3月期
第2四半期決算説明資料
(平成23年4月～平成23年9月)

I 連結決算関連

- (1) 連結の範囲等
- (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
- (3) 要約四半期連結貸借対照表
- (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

II 単体決算参考資料

- (1) 売上高の状況

※ 当資料の表示等に関する注記

- ①当第2四半期…平成23年9月期、前第2四半期…平成22年9月期、前期…平成23年3月期
なお、「第2四半期」は累計期間（4月1日～9月30日）を言う
- ②金額の表示単位…表示単位未満切捨て
- ③前同差、前同比…それぞれ対前年同期増減額、増減率を示す
- ④前期差…前期末との増減額を示す



“おいしい”をデザインする

森永乳業株式会社

平成23年11月

証券コード：2264

I 連結決算関連

(1) 連結の範囲等

	当第2四半期	前 期
連結子会社	30社	30社
持分法適用非連結子会社	3社	3社
持分法適用関連会社	1社	1社

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比	説明
売上高	309,343	100.0	316,177	100.0	△6,834	△2.2	①
売上原価	212,435	68.7	215,215	68.1	△2,779	△1.3	
売上総利益	96,907	31.3	100,962	31.9	△4,054	△4.0	②
販売費及び一般管理費	85,922	27.8	86,652	27.4	△730	△0.8	③
営業利益	10,985	3.6	14,309	4.5	△3,324	△23.2	
営業外収益	1,242	0.4	1,178	0.4	63	+5.4	④
営業外費用	1,104	0.4	1,160	0.4	△55	△4.8	④
経常利益	11,123	3.6	14,327	4.5	△3,204	△22.4	
特別利益	290	0.1	158	0.1	131	+82.8	⑤
特別損失	3,361	1.1	3,781	1.2	△419	△11.1	⑤
税金等調整前四半期純利益	8,051	2.6	10,704	3.4	△2,653	△24.8	
法人税等	3,456	1.1	5,414	1.7	△1,957	△36.2	
少数株主利益又は損失	55	0.0	△25	-	81	-	
四半期純利益	4,538	1.5	5,315	1.7	△776	△14.6	

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比	説明
少数株主損益調整前四半期純利益	4,594	1.5	5,290	1.7	△695	△13.1	
その他の包括利益	247	0.1	425	0.1	△178	△41.8	⑥
四半期包括利益	4,842	1.6	5,715	1.8	△873	△15.3	

①売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当第2四半期	構成比	前第2四半期	構成比	前同差	前同比
1) 食品事業	298,493	96.5	305,673	96.7	△7,180	△2.3
2) その他事業	14,350	4.6	13,600	4.3	749	+5.5
消去又は全社	△3,500	△1.1	△3,096	△1.0	△403	-
合 計	309,343	100.0	316,177	100.0	△6,834	△2.2

「その他事業」には、飼料、プラント設備の設計施工、不動産の賃貸等が含まれる。

食品事業

震災や夏場の天候などの影響もあり、前同を下回った。

その他事業

プラント設備の設計施工部門などが前同を上回った。

②売上総利益

売上高減少や原材料価格の上昇の影響から、前同を下回った。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	構成比	前第2四半期	構成比	前同差	前同比
主要な項目 (販売費)						
拡売費	34,965	40.7	36,653	42.3	△1,688	△4.6
運送費・保管料	24,486	28.5	23,985	27.7	501	+2.1
従業員給料・賞与 (一般管理費)	6,953	8.1	6,164	7.1	788	+12.8
従業員給料・賞与 その他	3,926	4.6	4,596	5.3	△669	△14.6
その他	15,590	18.1	15,252	17.6	338	+2.2
合計	85,922	100.0	86,652	100.0	△730	△0.8

④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比
営業外収益	1,242	0.4	1,178	0.4	63	+5.4
受取利息及び配当金	401	0.1	335	0.1	66	+19.7
持分法投資利益	68	0.0	103	0.0	△34	△33.8
その他	772	0.2	739	0.2	32	+4.5
営業外費用	1,104	0.4	1,160	0.4	△55	△4.8
支払利息	889	0.3	965	0.3	△76	△7.9
その他	215	0.1	195	0.1	20	+10.5

⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比
特別利益	290	0.1	158	0.1	131	+82.8
固定資産売却益	66	0.0	58	0.0	7	+13.7
負ののれん発生益	(i) 77	0.0	68	0.0	8	+12.6
補助金収入	(ii) 140	0.0	21	0.0	119	+566.6
その他	6	0.0	10	0.0	△4	△41.5
特別損失	3,361	1.1	3,781	1.2	△419	△11.1
固定資産処分損	110	0.0	144	0.0	△34	△23.5
公益財団法人ひかり協会負担金	801	0.3	833	0.3	△32	△3.8
減損損失	(iii) 1,306	0.4	5	0.0	1,301	-
投資有価証券評価損	0	0.0	2,528	0.8	△2,528	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	-	263	0.1	△263	-
災害による損失	(iv) 953	0.3	-	-	953	-
その他	189	0.1	6	0.0	183	-

主な内容

- (i) 負ののれん発生益は、連結子会社株式を追加購入したことに伴い発生したものの。
- (ii) 補助金収入は、設備増設等に伴う助成金。
- (iii) 減損損失は、将来の使用が見込まれなくなった資産を減損処理したものの。
- (iv) 東日本大震災により発生した固定資産やたな卸資産の滅失、設備等の原状回復費用、被災地への義捐金・救援物資など。

⑥その他の包括利益の状況

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	前同差	前同比
その他の包括利益	247	0.1	425	0.1	△178	△41.8
その他有価証券評価差額金	(i) 120	0.0	851	0.3	△731	△85.9
繰延ヘッジ損益	△15	△0.0	△37	△0.0	22	-
為替換算調整勘定	(ii) 141	0.0	△392	△0.1	534	-
持分法適用会社に対する持分 相当額	0	0.0	4	0.0	△3	△82.6

主な内容

- (i) その他有価証券の時価上昇による。
- (ii) 海外子会社の円貨換算差額。

(3) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期	前期差	説明
流動資産	114,831	103,825	11,006	
現金預金	12,348	10,459	1,888	
売上債権	54,883	48,029	6,853	①
たな卸資産	33,123	32,204	919	
その他	14,475	13,132	1,343	
固定資産	244,741	244,568	173	
有形固定資産	214,074	213,504	570	
無形固定資産	5,419	5,399	20	
投資その他	25,247	25,664	△417	
資産計	359,573	348,394	11,179	

	当第2四半期	前期	前期差	説明
流動負債	148,111	128,570	19,540	
手形・買掛金	66,861	57,586	9,274	②
短期借入金	11,351	14,499	△3,147	③
一年内償還社債	10,000	-	10,000	③
その他	59,899	56,485	3,413	④
固定負債	98,113	109,512	△11,398	
社債	50,000	60,000	△10,000	③
長期借入金	26,202	28,031	△1,828	③
その他	21,911	21,481	429	
負債計	246,225	238,083	8,141	
純資産計	113,347	110,310	3,037	
負債・純資産計	359,573	348,394	11,179	

主要項目の内容および増減要因

	前期差	主な要因
①売上債権	6,853	季節的要因（3月より9月のほうが取引高が多い）による。
②手形・買掛金	9,274	季節的要因（3月より9月のほうが取引高が多い）による。
③借入金・社債	△4,976	季節的要因などによる。
④その他	3,413	未払費用（+2,308）の増加などによる。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,279	29,275	△10,995
税金等調整前四半期純利益	8,051	10,704	△2,653
減価償却費	8,450	8,465	△14
減損損失	1,306	5	1,301
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	2,528	△2,528
売上債権の増減額 (増加：△)	△6,767	△5,683	△1,083
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△788	4,339	△5,128
仕入債務の増減額 (減少：△)	9,309	9,351	△42
未払費用の増減額 (減少：△)	2,210	2,214	△3
法人税等の支払額	△3,677	△3,549	△128
その他	185	898	△713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,584	△11,095	2,510
固定資産購入額	△8,427	△9,703	1,275
固定資産売却額	93	77	15
投資有価証券の取得による支出	△307	△1,389	1,081
その他	56	△80	137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,880	△15,804	7,924
長期債務の増減額 (減少：△)	△1,931	△12,807	10,875
短期債務の増減額 (減少：△)	△3,426	△576	△2,849
配当金の支払額	△1,754	△1,758	3
その他	△767	△661	△106
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	△50	87
現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	1,852	2,325	△473
現金及び現金同等物の期首残高	10,101	12,555	△2,454
現金及び現金同等物の四半期残高	11,978	14,898	△2,920
借入金・社債残高	97,554	102,056	△4,502
フリーキャッシュ・フロー	9,695	18,179	△8,484

前年同期に比べ固定資産や投資有価証券の取得による支出が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の減少や期中におけるたな卸資産の増減による収支が悪化したことなどにより、当第2四半期のフリーキャッシュ・フローは、8,484百万円減少した。

Ⅱ 単体決算参考資料

(1) 売上高の状況

(単位：百万円、%)

製品分類	金額					
	当第2四半期	構成比	前第2四半期	構成比	前同差	前同比
市乳計	105,328	45.7	107,666	45.0	△2,337	△2.2
牛乳類	38,303		40,452		△2,149	△5.3
乳飲料等	36,458		36,050		407	+1.1
ヨーグルト	23,835		24,767		△932	△3.8
プリン等	6,731		6,395		336	+5.3
乳製品計	44,903	19.5	47,494	19.9	△2,590	△5.5
練乳	2,296		2,246		50	+2.2
粉乳	15,491		17,705		△2,213	△12.5
バター	5,739		5,965		△226	△3.8
チーズ	21,376		21,577		△200	△0.9
アイスクリーム	33,126	14.4	34,241	14.3	△1,115	△3.3
その他計	46,884	20.4	49,695	20.8	△2,810	△5.7
飲料	13,314		17,315		△4,000	△23.1
その他	33,569		32,379		1,189	+3.7
合計	230,243	100.0	239,097	100.0	△8,854	△3.7

(注) その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

主な増減要因

市乳計

牛乳類・・・「森永のおいしい牛乳」シリーズは伸長したものの、PB牛乳が前同を下回ったことなどにより、減収となった。

乳飲料類・・・マウントレーニアやリプトンミルクティーなどが伸びたことにより、増収となった。

ヨーグルト・・・震災影響に伴う製造量減少などにより減収となった。

プリン等・・・新製品の「タニタ食堂の100kcalデザート」「楽天市場 人気店の番外スイーツ」などが寄与し、増収となった。

乳製品計

練乳・・・家庭用練乳が前同を上回り、増収となった。

粉乳・・・調製粉乳が前同を下回ったことなどにより、減収となった。

チーズ・・・「スライスチーズ」などが前同を下回り、わずかに減収となった。

アイスクリーム・・・「ピノ」など伸びたものもあったが、今年の猛暑の反動などにより、前同を下回った。

その他計

飲料・・・リプトンティーが前同を下回ったことなどにより、減収となった。

その他・・・リプトンティーのティーバッグの取り扱いを始めたことなどにより、増収となった。